13時20分35秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 電話番号 0566-71-2225 02596 障害者生活支援事業

r	其	*	害	铝	1	
L	本	44	IП	卯		

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	001 障害者生活支援	事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】	
対象	在宅の障害者が
目的	日常生活の支援を受けられるようになる
手段	訪問入浴・訪問理容・中途視覚障害者生活訓練を民間企業等に、家具転倒防止器具取付・住宅用火災警報器取付をシルバー人材センターに委託します。 また、NHK受信料減免申請や心身障害者扶養共済加入等は障害福祉課窓口にて直営で行います。
事務内容	在宅の障害がある人に対し、訪問入浴、訪問理容、NHK受信料減免申請、家具転倒防止器具取付、住宅用火災 警報器取付、中途視覚障害者生活訓練、精神障害者社会復帰教室、心身障害者扶養共済加入等の在宅福祉サービ スの利用補助を行うことにより、障害のある人やその家族の地域における生活を支援し自立を図ります。

【コス			(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
<u>۲</u>	アルコスト	31,451	35,508	33,737
事	業費	27,041	30,888	29,117
	国庫支出金	6,518	7,231	6,832
	県支出金	3,258	3,614	3,416
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	17,265	20,043	18,869
人	、件費計	4,410	4,620	4,620
	正規(人)	0.70	0.70	0.70
その他	也経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	N H K 受信料の減免申請、	N H K 受信料の減免申請、	N H K 受信料の減免申 請、次の訪問理 情に 所のが 記問人答、 所以 所以 所以 所以 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

事務事業評価シート(2/2) 🗼 🚉 🚓 4年 8月20日

2頁 13時20分35秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 02596 障害者生活支援事業 上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
訪問入浴利用回数	回数	1,500.00 2,126.00	1,500.00 2,397.00	2,000.00 0.00
訪問理容利用回数	回数	40.00 6.00	40.00 3.00	40.00 0.00

【定性評価】			
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	 民間サービスに馴染まない		
	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	訪問入浴数は目標を上回っ		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2
理由	訪問理容の利用人数が目標		
効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	安価で確実な施行をシルバ		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	近隣市と同程度のサービス	を行っています	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	事業によって傾向が分かれていますが、今後は市民ニーズに応じて事業内容見直しを検討しつつ事業継続します
1 次コメント	
(400文字)	

【2次評価結果】

評価未実施
本事業においては、2次評価を実施していません。

3頁 13時20分35秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 02597 電話番号 0566-71-2225 障害者計画策定事業

【基本情報】

【空午月刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	002 障害者計画策定	 :事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者基本法、障害者の日	常生活及び社会生活	を総合的に支援するための	去律、児童福祉法	
備考					

【事業分析】	
対象	障害のある人が
目的	地域で安心して暮らせる社会を実現する
手段	障害者基本法第11条第3項、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条第1項、 児童福祉法第33条の20第1項に基づく計画策定、計画の進捗管理を行います。計画策定にあたっては、国や 県の方針、「総合計画」等、本市の関連計画と調整、整合を図りながら策定します。
事務内容	安城市障害者福祉計画(第5次障害者計画、第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画)の進捗管理を行う。 次期第7期障害福祉計画と第3期障害児福祉計画の策定業務(アンケート調査)を行う。

(単位:千円) 【コスト】

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	10,359	1,650	3,806
事業費	4,563	0	2,816
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,563	0	2,816
人件費計	5,796	1,650	990
正規(人)	0.92	0.25	0.15
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・現行計画の進捗管理 ・次期安城市障害者福 ・次期回(3計画)の 定業務全般 ・作業弱会・幹事会・ 策定委員会、パブリッ クコメント等を通じ、 計画案を策定	・第5次障害者計画の 進捗管理 ・第6期障害福祉計画 と第2期障害児福祉計 画の進捗管理	・第5次障害者計画の 進捗管理 ・第6期障害福祉計画 と第2期障害児福祉計 画の進捗管理 ・次期第7期障害福祉 計画と第3期障害児福 祉計画の策定業務(アンケート調査)

4頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

ランク

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係 事務事業 02597 障害者計画策定事業

【定量評価】 上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
進捗率	%	95.00	95.00	95.00 0.00
	70	85.90	89.70	0.00

 (定性評価)
 カテゴリ
 評価の観点
 基準

 必要性
 国・県・民間等との補完性
 1 国・県・民間等がサービスを行っていない

 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある。

 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている

 理由
 障害者基本計画等に規定されています

 必要性
 市民ニーズの有無
 1 市民ニーズは充分にある

 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している
 3 市民ニーズはない又は不明である

 理由
 障害福祉課題が多様化・複雑化し、市民ニーズは一層高まっていま

 有効性
 目標に対する進捗状況
 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である

 2 目標を下回る進捗状況である
 3 進捗はかなり遅れている

 理由
 進捗管理の把握に努め目標達成を推進しています

 効率性
 事業の効率化・事業費の削減
 1
 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている

 2
 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる

 3
 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない

 理由
 事務の効率化に努めています

 公平性
 事業規模・サービス水準
 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。

 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。
 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。

理由 近隣市と同様に計画を策定しています

 事業の方向性
 維持・継続

 令和3年3月に安城市障害者福祉計画(第5次障害者計画、第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画)を策定しました。今後は、進捗管理を行います。 次期第7期障害福祉計画と第3期障害児福祉計画の策定に係るアンケート調査を令和4年度に行います。

 1次コメント (400文字)

【2次評価結果】

3

4

5

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

5頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

02

004 きずな

所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

計画次数

5 Kの分類

事務事業 02598 障害支援区分認定事務 電話番号 0566-71-2225 【基本情報】

第8次安城市総合計画

項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生活支援				
事務事業	003 障害支援区分	記定事務			
事業期間	平成18年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的性質別	費目	
健幸事業		マニフェスト	地方創	生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社	L会生活を総合的に支払			
備考					
【事業分析】					
対象					
目的					
手段					
事務内容	認定審査会の開催、審査	会資料の作成、審査会	会結果の対象者への通知等を行います	•	
L 【コスト】					
		和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
		10 2 1 	決算額	予算額	
トータルコスト		大弄 照 11,003	13,345	15,407	
事業費		8,798	11,365		
国庫支出金		0,790	0	13,427	
				0	
県支出金		0	0	0	
地方債		0	0	0	
その他		0	0	0	
一般財源		8,798	11,365	13,427	
人件費計		2,205	1,980	1,980	
正規(人)		0.35	0.30	0.30	
	i i				
7.00 (7.7)					
 その他経費		0	0	0	
その他経費			-		
その他経費	\$	0 2年度	0 令和 3年度	令和 4年度	
その他経費		和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
その他経費			-		
その他経費	認定審査	和 2年度	令和 3年度認定審査会開催回数	令和 4年度	
	認定審査	和 2年度	令和 3年度認定審査会開催回数	令和 4年度	
その他経費	認定審査	和 2年度	令和 3年度認定審査会開催回数	令和 4年度	
	認定審査	和 2年度	令和 3年度認定審査会開催回数	令和 4年度	
	認定審査	和 2年度	令和 3年度認定審査会開催回数	令和 4年度	
	認定審査	和 2年度	令和 3年度認定審査会開催回数	令和 4年度	

事務事業評価シート(2/2) 🔩 4年 8月20日

6頁 13時20分35秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

0001151510 障害福祉課障害福祉係 所属

	務事業	02598	障害支援区分認定事務				
_[定量評価】		W /A	A11.0F#	A 10 o 45 dt		<u>標値 下段:実績値</u>
		指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	学	和 4年度
<u></u>	定性評価】					-	
╚		カテゴリ	評価の観点	1	 基準		ランク
	必要性	737 - 17	日・旧・民門竿との猫	1 国・県・民間等がサ			777
	心安江		国・県・民間等との補完性		<u>・ービスを行っていない</u> ・ービスは不十分で、市で補完す	ス必亜がちる	_
			75.2			る必安かのる	1
1				3 国・県・民間等が同	様のサービスを行っている		
							•
1	<u> </u>			<u> </u>			
\vdash	理由		支援区分認定事務は各自治				
	必要性		市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分に	こある		
					より市民ニーズは低下している		1
2				3 市民ニーズはない又	は不明である		
	理由		例年多くの申請があります	<u> </u>			
	有効性		目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目	標どおりの進捗である		
				2 目標を下回る進捗状	況である		
3				3 進捗はかなり遅れて	เกอ		
٦							
	理由			•		•	
	効率性		事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事	務改善に取り組み、具体的な成	果を 上げている	
			の削減		務改善に取り組んでいる	XC117 CV.0	
Ι.				5 717 6 727 17 17 18 7	務改善にあまり取り組めていな	L I)
4				3 3 7 7 7 7	STATE OF STA	•	
	理由		引き続き事務改善に努める	⊥		I	
	公平性		事業規模・サービス水		 等と比較して適正である。		
			準		<u>等と比較してあまり適正でない</u>		_
			i i		等と比較して適正でない。 等と比較して適正でない。	•	1
5				3 城境支机区间日沿座	今と比較して過止でない。		
1	1						•
ĺ	m dr		可収か速ぬるたともして		\±+		
Ļ	理由	± 🖽 ﻠ	研修や理給会をとおし()	<u> 適正かつ公正な認定に努めてい</u>	1よ 9		
	1次評価組		4仕十二、4业4士				
埩	業の方向性	±	維持・継続	が囲木笠を仁ミ坦人 ・ 問と 四:	1.大阪中に仁ミレレナロー・ハマム	完木がデキュ し	こに卸木
)を確実に行うとともに、公正な	番鱼かでさるよう	つに調宜
			祟を作成しまり。障害者約	総合支援法に基づき事務を継続	元しより。		
١.							
	次コメント						
(400文字	子)					
1							
1							
L							
	2 次評価紹						
事	業の方向性	<u> </u>	評価未実施				
1			本事業においては、2次記	平価を実施していません。			
l							
l							
2	次コメント	-					
(400文字	字)					
<u>۱</u>		-					
l							

7頁 13時20分35秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 02599 電話番号 0566-71-2225 障害者移送事業

	-		1-	+-	•
•	ᇁ	\mathbf{x}	ᅚᆖ	報	1

【空午月刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	004 障害者移送事業				
事業期間	昭和63年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者福祉タクシー料金助	成事業実施要綱			
備考					

【事業分析】

▲ 事未刀削 】	
対象	障害者(児)が
 目的	日常生活における移送手段を利用できるようになる
H-7	HIPELING OF ELIVE COOK SIGNA
手段	障害のある人の外出時の移動手段を確保することを目的として、外出の為にタクシーを利用する場合の料金の一
	部を助成し、障害者福祉増進を図ります。交付対象者:身体障害者手帳1~3級、療育手帳A・B、精神障害者保健
	福祉手帳1・2級(その他諸条件あり。)。交付枚数:3枚/月(36枚/年)。追加交付:週2回以上かつ2か月以
	上通院の場合、医療機関の証明を受けることで1冊に限り追加交付します。
事務内容	障害者福祉タクシー助成、身体障害者自動車運転免許取得助成、身体障害者自動車改造費助成

【コスト】

(単位:千円)

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		20,631	22,215	22,723
事業費		18,741	20,235	21,403
国庫支	出金	263	283	300
県支出:	金	131	142	150
地方債		0	0	0
その他		0	0	0
一般財	源	18,347	19,810	20,953
人件費計		1,890	1,980	1,320
正規(,	人)	0.30	0.30	0.20
その他経費		0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	障害者福祉タクシー利	障害者福祉タクシー利	障害者福祉タクシー利
	用料金助成券交付枚数	用料金助成券交付枚数	用料金助成券交付枚数
	38,652枚	4 1 , 3 4 0 枚	40,000枚(予定)

8頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 02599 障害者移送事業

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
タクシー利用助成の利 用人数		1,200.00	1,200.00	1,350.00
737(8)	^	1,273.00	1,359.00	0.00
了				

_ []	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		完性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
۱,			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
'				_
		タクシーは障害者手帳提示		
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	A
١.			3 市民ニーズはない又は不明である	Y
2			3 1920— 7(10:00) 7(10:11) (03:0	
				_
		申請人数は1000人を超		
	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
	137612		2 目標を下回る進捗状況である	_
			3 進捗はかなり遅れている	1
3			コールニットはなったことでも	
				-
		申請者目標を上回っていま	LL	
	<u>性</u>	事業の効率化・事業費		
	₩ -	の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		133#74	3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	7
4			3 事業ナ法の快割や事務以普にのより取り組めていない	
	T = +	フェルトトドルナナクヤー		
	理由	不正防止など他市を参考に		
	公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	_
		 	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
				•
	L			
	理由	事業目的に沿った適正な内	谷と考えます	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	障害者福祉タクシー利用料金助成事業は、障害者の移動・外出の一助となっています。1回の乗車につき1枚の助成券が利用可能という条件を設けていることは、外出機会を増やすという制度の意図に沿っていると考えています。
1次コメント (400文字)	
.,, ., .	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

9頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 02600 障害者情報提供事業 電話番号 0566-71-2225

7	甘木	生	ᇷ	1
L	基本'	目	羊▽	1

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生				
事務事業	005 障害者情報提供	事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	手話通訳者派遣要綱、要約	筆記者派遣要綱			
備考					

【事業分析】

【 					
対象	在宅生活の障害者が				
目的	様々な情報を受け取りやすくなる				
手段	市の窓口に手話通訳者を設置や手話通訳を必要とする聴覚障害者等への手話通訳者の派遣、難聴・中途失聴者への要約筆記者の派遣を行っています。また、聴覚障害者との連絡手段の確保のために障害福祉課等にFAXを設				
事 双力灾	置や災害時に登録者(聴覚障害者)に情報を一斉送信するためのシステム「テガルス」の管理・運営を行ったり、CDに広報あんじょうを録音して視覚障害者宅へ送付する声の広報を行っています。				
事務内容	手話通訳者派遣、要約筆記者派遣、徘徊探査機の貸出 				

【コス	【コスト】 (単位:千円					
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度		
		決算額	決算額	予算額		
トータルコスト		5,985	9,694	11,993		
事	業費	2,394	3,094	5,393		
	国庫支出金	436	387	440		
	県支出金	217	193	220		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,741	2,514	4,733		
人	件費計	3,591	6,600	6,600		
	正規(人)	0.57	1.00	1.00		
その他経費		0	0	0		

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	窓口での設置手話通訳	窓口での設置手話通訳	窓口での設置手話通訳
	者通訳回数	者通訳回数	者通訳回数
	989回	1,027回	1,200回(予定)
	手話通訳者の派遣回数	手話通訳者の派遣回数	手話通訳者の派遣回数
	218回	310回	300回(予定)
	要約筆記者の派遣回数	要約筆記者の派遣回数	要約筆記者の派遣回数
	25回	35回	20回(予定)

10 頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係 事務事業 02600 障害者情報提供事業

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
設置手話通訳者の通訳 回数	件数	1,200.00 989.00	1,200.00 1,027.00	1,200.00 0.00

【定性評	·価】			
_	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要(性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由		市登録者に加え、県にも広		
必要(性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由		通院や相談など多数の派遣		
有効(性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由		コロナ禍の影響で窓口・派	遣件数は減少傾向です 遣のとは減り傾向です	
効率(性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由		社会福祉協議会に講座を委		
公平/	性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	· 無	近隣市と遜色ない通訳者設	置・派遣を行っています	

【1次評価結果】

E · PORT IMPORTE	· ACH I MINING A			
事業の方向性	維持・継続			
	聴覚障害者の通院時や、相談・面談、買い物や業者説明など、多数の手話通訳者派遣依頼が寄せられています。 近隣市と比較しても同程度以上の派遣を行っています。一方で十分な通訳のできる人材の確保が課題となってい			
	ますので、養成講座等を通して手話通訳者の質を向上を図ります。			
1次コメント				
(400文字)				

<u>【 2 次評価結果】</u>

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	

11 頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係 事務事業 02601 障害者手当等支給事務

電話番号 0566-71-2225

【基本情報】

【空中用刊】					
計画次数	02 第8次安城市	総合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域	 生活支援			
事務事業	006 障害者手当等				
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営		<u> </u>		
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市障害者扶助料支給		F当等の支給に関する決		
備考					
【事業分析】					
対象					
目的					
H H H H					
J 1.					
事務内容	 障害者扶助料・特別障害 [*]		E当·经過的福祉手当σ) 古給に係る事務 在字番	
デジカドリ ロ		ロナコ 呼音ル伸弾で		/ 火州にぶる事物、仕七里	汉洋百日丁コ 1上

【コスト】	

日外国人福祉給付金の受付に係る事務

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トーク	/ ルコスト	377,700	378,889	385,845
事	業費	367,620	368,329	375,285
	国庫支出金	51,548	50,085	56,828
	県支出金	7,974	7,208	7,631
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	308,098	311,036	310,826
人	件費計	10,080	10,560	10,560
	正規(人)	1.60	1.60	1.60
その他		0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	障害者扶助料支払い	障害者扶助料支払い	障害者扶助料支払い
	:年2回	:年2回	:年2回
	特別障害者手当支払い	特別障害者手当支払い	特別障害者手当支払い
	:年4回	:年4回	:年4回
	障害児福祉手当支払い	障害児福祉手当支払い	障害児福祉手当支払い
	:年4回	:年4回	:年4回
	経過的福祉手当支払い	経過的福祉手当支払い	経過的福祉手当支払い
	:年4回	:年4回	:年4回

12百 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価

0001151510 障害福祉課障害福祉係 所属 事務事業 02601 障害者手当等支給事務

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
障害者手当の受給者数		6,500.00	6,500.00	6,500.00
	^	6,293.00	6,298.00	0.00

【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 ランク 基準 必要性 国・県・民間等との補 <u>国・県・民間等がサービスを行っていない</u> 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 1 各制度に基づき手当の認定 支給等を行っています 理由 必要性 市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である 2 障害者福祉の向上のために必要な手当です 理由 有効性 目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている 3 理由 事業の効率化・事業費 の削減 効率性 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない 3 4 理由 引き続き効率的な支給事務に努めます 事業規模・サービス水 公平性 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。 3 5 引き続き適正な認定、支給に努めます

【1次評価結果】

理由

事業の方向性	維持・継続
	窓口にて各種障害者手帳を交付する際に手当の制度についても案内し、対象となる方に周知を図ります。法律等 に基づき適切な支給事務を継続していきます。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

13 頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

電話番号 事務事業 02602 障害者生きがいづくり事業 0566-71-2225

r	基本	唐報	1
L	本平	目节区	

計画次数	02 第8次安城市総合計画				
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	007 障害者生きがい	づくり事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市福祉センターの設置	及び管理に関する祭	€例		
備考					

【事業分析】

チネカ1/1/1 /				
対象	在宅の障害者が			
目的	手軽に趣味や文化活動を楽しみ、生きがいづくりをできるようになる			
手段	社会福祉協議会へ社会参加支援事業として事業委託し、実施しています。			
事務内容	在宅の障害者の自立を図ると共に生きがいを高め、教養・趣味等の講座を通じて必要な技術や知識を身につけ、 障害者の相互交流を図る為に、総合福祉センター内の身体障害者福祉センターにて障害者の講座型デイサービス 事業を行います。			

[【コスト】 (単位:				
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度 予算額	
		決算額	決算額		
トータルコスト		13,530	11,721	20,922	
	事業費	12,900	11,061	19,602	
	国庫支出金	3,224	2,765	3,517	
	旦 古出全	1 611	1 202	1 750	

県支出金 <u>1,383</u> 地方債 0 0 0 その他 0 0 0 一般財源 8,065 6,913 14,327 人件費計 630 660 1,320 正規(人) 0.10 0.10 0.20

0

0

0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	講座開催	講座開催	講座開催
	絵画(14回)177人	絵画(6回)78人	絵画
	手編(15回)248人	手編(8回)132人	手編
	書道(12回)141人	書道(5回)113人	書道
	生花(12回) 83人	生花(6回) 57人	生花 等

その他経費

14頁 令和 4年 8月20日 13時20分35秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係 事務事業 02602 障害者生きがいづくり事業 【定量評価】

指標:	函	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
章害者講座の開講		10.00 15.00	15.00 16.00	16.00 0.00
<u>定性評価】</u> カテコ	ブリ 評価の観点	1	基準	=>,,
			_ :	ランク
0.211	国・県・民間等との補 完性		・ビスは不十分で、市で補完する。	 必要がある ◢
			<u>これはイーので、作り間がありま</u>	<u> </u>
		3 H M 2013 3 W 1 3 W		
TH -th	ロ田井 プラル明治ナイ		プレナナ	
		いため、社会福祉協議会に委託し		<u> </u>
必女注	いたーー人の行無	1 市民ニーズは充分にあ 2 社会情勢の変化等によ	<u>る</u> ∶り市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は		1
			イントガ て の る	
理由	多くの利用がありました。			1
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標		<u>_</u>
		2 目標を下回る進捗状況		1
		3 進捗はかなり遅れてい	18	
理由	社会福祉協議会が講座を	── └ ───── 内容を適宜見直し開講しています		I
効率性	事業の効率化・事業費		。 改善に取り組み、具体的な成果で	を上げている
	の削減	2 事業手法の検討や事務		
		3 事業手法の検討や事務	<u> 改善にあまり取り組めていない</u>	
		<u> </u>		
		 stを狭めないよう講座を開講してい		
公平性	事業規模・サービス水		<u>しな。</u> と比較して適正である。	
	準 準		と比較してあまり適正でない。	
			と比較して適正でない。	
TIII ch		1に夕廷夕様に展開しています		
<u>理由</u> 1 次評価結果】)に多種多様に展開しています		
<u> </u>	維持・継続			
		る。 その講座に限定していましたが、平 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成26年度からは運動系の講座開	講にも着手しています
	。参加動向やニーズに応	びじ、適宜実施内容の見直しを行い	\ます。	
次コメント				
400文字)				
2次評価結果】				
業の方向性	評価未実施		-	<u> </u>
	本事業においては、2%	?評価を実施していません。		
	1			
カコイント				
次コメント 400文字)				
次コメント 400文字)				

13時20分36秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

電話番号 0566-71-2225 事務事業 02603 障害者社会参加促進事業

r	其木	情報】	
L	平平	目节区】	

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	008 障害者社会参加	促進事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市あんくるバス無料乗	車証交付要綱			
備考					

【事業分析】	
対象	障害者が
目的	様々な社会参加の機会が得られるようになる
手段	NPO法人や障害者団体等に社会参加につながる事業について委託や補助を実施しています。
事務内容	あんくるパスの障害者乗車利用に係る応分負担をしています。また、障害者団体に障害者福祉ウォークラリー、 残存機能訓練、青年学級ふれあい事業や精神障害者ふれあい促進事業を委託します。その他、あんぷくまつり実 行委員会に補助金を支払います。

【コスト】

(単位:千円)	
 4年 🕁	

	令和 2年度		令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	4,761	6,367	11,076
事業費	3,816	5,377	9,426
国庫支出金	233	301	410
県支出金	116	149	205
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,467	4,927	8,811
人件費計	945	990	1,650
正規(人)	0.15	0.15	0.25
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	障害者福祉体育祭や残存機能訓練、青年学級 ふれあい事業、精神障害者ふれあい促進事業 を委託する。また、あんくるバス障害者利用の応分負担を図る	障害者福祉体育祭や残存機能訓練、青年学級 ふれあい事業、精神障害者ふれあい促進事業 を委託する。また、あんくるバス障害者利用 の応分負担を図る	障害者福祉体育祭や残存機能訓練、青年学級 ふれあい事業、精神障害者ふれあい促進事業 を委託する。また、 めくるパス障害者利用 の応分負担を図る

事務事業評価シート(2/2) *** 4年 8月20日

16頁 13時20分36秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係 事務事業 02603 障害者社会参加促進事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

【足里叮叫】				
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
障害者福祉体育祭の開 催(令和3年度よりウ ォークラリーに変更)	回数	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00
青年学級ふれあい事業	行事回数	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00

【定性評価】		+->+	
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	元 注	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
1		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		業をNPO法人等に委託しています	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	4
2		3 市民ニーズはない又は不明である	
			ı
理由		がる機会の確保のため必要とされています	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	_
		2 目標を下回る進捗状況である	7
3		3 進捗はかなり遅れている	
	 コロナ禍の影響により一部		
	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
W+11	の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	_
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
4		3 事業子/なが挟むと事物は自にめるり取り温めといない	
			_
理由	NPO法人等や関係団体で		
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	Ĭ
~			
理由	あんくるバス利用促進補助	助等サービス水準は適正と考えます	
1次評価結果】	Loo I to Color		
事業の方向性	推持・継続		

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400文字)	障害者のあんくるバス利用に応じた負担を運行会社に支払いました。また、障害者関係団体に残存機能回復訓練、青年学級ふれあい事業、精神障害者ふれあい促進事業を委託しましたが、コロナ禍の影響により一部の事業を中止しました。あんぷくまつりも開催を見送りました。障害者福祉体育祭は、コロナ禍であっても屋外でコロナ対策のもとに開催できるようにデンパークでウォークラリーに変更して開催しました。今後も、コロナ禍でも障害者の社会参加のため継続していきます。

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

17 頁 令和 4年 8月20日 13時20分36秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 02604 障害者手帳交付事務 電話番号 0566-71-2225 【基本情報】 第8次安城市総合計画 計画次数 02 5 Kの分類 きずな 004 項目(施策) 003 13社会保障 施策の方針 001 13社会保障その他 事務事業 025 障害者手帳交付事務 事業期間 平成元年度 ~ 実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 性質別費目 義務的 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 身体障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、愛知県療育手帳制度実施要綱

【事業分析】	
対象	
目的	
手段	

本人の申請に基づき、身体障害者手帳(目、耳、手足、心臓、腎臓、呼吸器等に一定以上の永続する障害を有する人が対象)、療育手帳(概ね18歳以前に知的機能障害が認められ、知能指数(IQ)が75以下で日常生活に支障のある状態の人が対象)、精神障害者保健福祉手帳(精神障害の為、長期に渡り日常生活や社会生活に制

(単位:千円) 【コスト】 令和 4年度 令和 2年度 令和 3年度 決算額 決算額 予算額 トータルコスト 14,427 15,840 16,170 事業費 0 国庫支出金 0 0 0 県支出金 0 0 0 地方債 0 0 0 その他 0 0 0 一般財源 0 0 0 人件費計 14,427 15,840 16,170 2.40 正規(人) 2.29 2.45 その他経費 0 0 0

約のある人が対象)を交付します。

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	障害者手帳(身体障害	障害者手帳(身体障害	障害者手帳(身体障害
	者手帳・療育手帳・精	者手帳・療育手帳・精	者手帳・療育手帳・精
	神障害者保健福祉手帳	神障害者保健福祉手帳	神障害者保健福祉手帳
	の3種)の申請受付、	の3種)の申請受付、	の3種)の申請受付、
	県への進達及び交付	県への進達及び交付	県への進達及び交付

備考

事務内容

13時20分36秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

0001151510 障害福祉課障害福祉係 所属

	務事業 02604 障 E量評価】	章害者手帳交付事務			上段:目標	値 下段:実績値
	指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度		1 4年度
	7.44.÷57/37.¶					
Ţ	<u>E性評価】</u> カテゴリ	 評価の観点		 基準		 ランク
_	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサ	坐工 ナービスを行っていない		
		完性	2 国・県・民間等のサ	ナービスは不十分で、市で補完す	る必要がある	1
1			3 国・県・民間等が同	様のサービスを行っている		
						•
	理由	障害認定事務は愛知県が行		9		
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分に			
			2 社会情勢の変化等に 3 市民ニーズはない又	こより市民ニーズは低下している アは不明である	·	1
2			2 リルニースはないス	(は小品である		
	理由	障害者福祉向上のため必要	1			
	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目 2 目標を下回る進捗が	<u> </u>		
2			3 進捗はかなり遅れて			
3						
	理由	 事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事	3.835 羊 I - 171 1 2 41 7 1 日 15 15 15 15	田をトげている	
	W+11	の削減		፤務改善に取り組み、具体的な成 ፤務改善に取り組んでいる	(未を工)) (いる	
4				暴務改善にあまり取り組めていな	:11	•
•						
	[要知県により定められた。 愛知県により定められた。	 5順に削り行っています		_	
	公平性	事業規模・サービス水	1			
		<u>準</u> 	2 環境変化や他自治体	\$等と比較してあまり適正でない		1
5			3 環境変化や他自治体	は等と比較して適正でない。		
						•
		愛知県により定められた	 F順に則り行っています			
	次評価結果】	Land delate				
事	業の方向性	維持・継続	ンズキスため、東双の正珠さT		する。これが発用で対応	1 + +
		。手帳の交付申請基準に基		メびコストを与ん任期刊で職員(こり能な製曲で対心	10±9
		0 3 1K-52(13 1 HI3 1 1 1 1 1 1				
	欠コメント					
('	400文字)					
	2 次評価結果】	T				
事	業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次記	で			
			「叫で天心していません。			
	欠コメント					
(-	400文字)					

19頁 13時20分36秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

0001151510 障害福祉課障害福祉係 所属
 事務事業
 02605

 【基本情報】
 特別児童扶養手当事務

電話番号 0566-71-2225

【				
計画次数		第8次安城市総合計画		
5 Kの分類		きずな		
項目(施策)	003	1 3 社会保障		
施策の方針	004	障害者の地域生活支援		
事務事業	009	特別児童扶養手当事務		
事業期間	平成元年度	₹ ~		
実施方法	直営		<u>, </u>	
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 性質別費	
健幸事業	1	マニフェスト	地方創生	
根拠法令等	特別児童技	共養手当等の支給に関する法律		
備考				
【事業分析】				
対象				
目的				
手段				
事務内容	手当受給の)ための各種申請受付事務、県への書	書類進達、認定通知書等の発送事務	
【コスト】				(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		1,575	2,970	2,970
事業費		0	0	0
国庫支出金		0	0	0
県支出金		0	0	0
地方債		0	0	0
その他		0	0	0
一般財源		0	0	0
人件費計		1,575	2,970	2,970
正規(人)		0.25	0.45	0.45
1 1 1				i
その他経費	İ	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	特別児童扶養手当受給	特別児童扶養手当受給	特別児童扶養手当受給
	に係る各種申請受付、	に係る各種申請受付、	に係る各種申請受付、
	愛知県への書類進達、	愛知県への書類進達、	愛知県への書類進達、
	認定通知書等の発送事	認定通知書等の発送事	認定通知書等の発送事
	務を行う	務を行う	務を行う

13時20分36秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

0001151510 障害福祉課障害福祉係 所属

	務事業	02605	特別児童扶養手当事務				L E.T 🗆 +	西仿 一口,安结仿
<u>[</u>]	<u> 量評価】</u>	 指標名			 令和 2年度	令和 3年度		票値 下段:実績値 和 4年度
		10.122	+12		∀ 1μ 2 1 1 Σ	₹1μ 0 ⊤7Σ	*	H ++1X
[5	E性評価】			_				
		カテゴリ	評価の観点		1	基準		ランク
	必要性		国・県・民間等との補完性			ービスを行っていない	V = 4°+ 7	_
			7612			ービスは不十分で、市で補完する 様のサービスを行っている	必要かめる	1
1				3	国、光、民间会》,问《			
	理由		障害認定事務は愛知県が行	が、申記	青事務は市が行います			
	必要性		市民ニーズの有無		市民ニーズは充分に			
						より市民ニーズは低下している		1
2				3	市民ニーズはない又口	は小明じめる		
								-
	理由		障害者福祉の向上のため必	 が要な手約	 売きです			
	有効性		目標に対する進捗状況			標どおりの進捗である		
					目標を下回る進捗状況			
3				3	進捗はかなり遅れてい	,13		
				-				
	 理由				1			
	効率性		事業の効率化・事業費	1	事業手法の検討や事	務改善に取り組み、具体的な成果	を上げている	
			の削減		事業手法の検討や事	務改善に取り組んでいる		7
4				3	事業手法の検討や事	務改善にあまり取り組めていない		
								_
	 理由		 愛知県により定められた手	上	L)車業を行っています			
	公平性		事業規模・サービス水					
			準			等と比較してあまり適正でない。		1
5				3	環境変化や他自治体	等と比較して適正でない。		
				-				•
	 理由		 愛知県により定められた手	上) 重業を行っています	•		
<u> </u>	<u>⊯田</u> □次評価結	課】	女州示になりたのり10にす		ノア末にロノしいのり			
	業の方向性		維持・継続					
						いても案内し、対象となる方に周	別知を図ります。	。法律等
			に基づき適切な支給事務を	継続して	こいきます。			
 	欠コメント	_						
	スコグフェ 4 0 0 文字							
 `								
Ļ	\ \ <u></u>	- m 1						
	2次評価結							
 	業の方向性	<u>t</u>	評価未実施 本事業においては、2次評	価を宝が	あしていません			
			1 XICOV. CIB. 2 / XII	, m C 7/11	22 27.6 2700			
	欠コメント							
('	4 0 0 文字	₹)						

13時20分36秒

0566-71-2225

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 電話番号 02606 障害者就労支援事業

r	其木	害報	1
L	本 平	月节区	

5 Kの分類 004 きずな 項目(施策) 003 1 3 社会保障 施策の方針 004 障害者の地域生活支援 事務事業 010 障害者就労支援事業 事業期間 平成19年度 ~ 実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 備考	計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
施策の方針 004 障害者の地域生活支援 事務事業 010 障害者就労支援事業 事業期間 平成19年度 ~ 実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	5 Kの分類	004 きずな				
事務事業 010 障害者就労支援事業 事業期間 平成19年度 ~ 実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	項目(施策)	003 13社会保障				
事業期間 平成19年度 ~ 実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	事務事業	010 障害者就労支援	事業			
実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。						
実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。						
実施方法 直営 会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。				1		
会計区分 一般会計 事業区分 政策的 性質別費目 健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	事業期間					
健幸事業 マニフェスト 地方創生 根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	実施方法					
根拠法令等 平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
平成20年度から小規模作業所等事業運営費を補助していた事業所が平成29年9月に廃業しました。	健幸事業		マニフェスト		地方創生	
	根拠法令等					
	備考	平成20年度から小規模作	業所等事業運営費を	E補助していた事業所が平成	29年9月に廃業し	ました。

【事業分析】

【サポカル】	
対象	就労を希望する障害者
目的	就労を希望する障害者が就労できるようになること
	就労相談員を設置し、就労に向けハローワークの求人情報や就労継続支援事業所の情報などを収集し、障害者に 紹介・情報提供を行います。
事務内容	障害者就労相談、求人・求職情報提供、就労支援(講演会等)

【コス	+]			(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	7ルコスト	2,950	2,308	2,404
事	業費	1,879	1,978	2,074
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,879	1,978	2,074
人	件費計	1,071	330	330
	正規(人)	0.17	0.05	0.05
その他	2経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・就労相談員による就	・就労相談員による就	・就労相談員による就
	労相談回数	労相談回数	労相談回数
	461件	335件	350件(予定)
	・就職できた人数	・就職できた人数	・就職できた人数
	66人	72人	50人(予定)

22 頁 令和 4年 8月20日 13時20分36秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001151510 隨害福祉課隨害福祉係

所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係 事務事業 02606 障害者就労支援事業 【定量評価】

定量評価】 指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	上段:目標値 下段:実績 令和 4年度
	丰位			
1441 C C /C/\(\dot{\dot{\dot{\dot{\dot{\dot{\dot{	人	30.00	30.00	50.0
		66.00	72.00	0.0
定性評価】				
カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補	1 国・県・民間等がサー		
DAIL	完性		<u>ビスは不十分で、市で補完する必</u>	の曲がある
				い安かのる
		3 国・県・民間等が同様	のサービスを行っている	
理由	就労に向け、職業安定所領	等の情報も提供しています <u></u>		
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にあ	 る	
			<u>。</u> り市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は		
			11円にある	
理由		や情報提供を行っています		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標	どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況	である	
		3 進捗はかなり遅れてい		
		5 E171017 13 7 E17 CV .		
1	45 4 314 - +15 32 4 4 4			
理由		7 2 名が就労につながりました		
効率性	事業の効率化・事業費		<u>改善に取り組み、具体的な成果を</u>	上げている
	の削減	2 事業手法の検討や事務	改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務	改善にあまり取り組めていない	
	引き続き事務改善に努める	ᆜ ᆂ ᅔ		_
	事業規模・サービス水	i ı	しいおしてきてった?	
公平性	事業規模・リーロス小 推		と比較して適正である。	
	T .		と比較してあまり適正でない。	1
		3 環境変化や他自治体等	と比較して適正でない。	
理由	引き続き適正な支援に努る	<u>, </u>		•
1 次評価結果 】	引し続し返出なく液に分	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	始共,始结			
業の方向性	維持・継続			
		労を希望する障害者からの相談に	対し」寧に対応していきます。	
	障害者の就労のため相談	事業を継続していきます。		
次コメント				
400文字)				
- >				
2 次評価結果】				
業の方向性	評価未実施			
	本事業においては、2次記	平価を実施していません。		
N= .1 > .1				
次コメント				
400文字)				

事務事業評価シート(1/2) *** (1/2)

23 頁 13時20分36秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 電話番号 0566-71-2225 02608 成年後見支援事業

r	其木	情報】	
L	平平	目节区】	

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	011 成年後見支援事	業			
事業期間	平成23年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	知的障害者福祉法、精神保	健及び精神障害者福	祉に関する法律、高齢者及び	び障害者成年後見制	度利用支援事業
備考					

【事業分析】

【争美分析】	
対象	後見人を必要とする方が
目的	成年後見制度を利用する
手段	社会福祉協議会において実施する成年後見支援事業を支援するため、同協議会に対して補助金を交付します。
事務内容	申立親族が周りにいない障害を有する人が必要に応じて成年後見を市長申立する場合、受任する成年後見支援事業を施行するために社会福祉協議会への補助金の交付を行います。

【コスト】

(単位:千円)

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		7,642	11,576	17,938
事	業費	5,437	9,596	16,288
	国庫支出金	15	2,399	19
	県支出金	7	1,199	9
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,415	5,998	16,260
人	件費計	2,205	1,980	1,650
	正規(人)	0.35	0.30	0.25
その他経費		0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	社会福祉協議会への補助の実施	社会福祉協議会への補助の実施	安城市後見支援センターの社会福祉協議会への委託と補助の実施

13時20分36秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001151510 障害福祉課障害福祉係

事務事業 02608 成年後見支援事業 上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	4.00	4.00	4.00
^	1.00	2.00	0.00
	人	4.00	4.00 4.00

F ⇔ 144 ÷ 57 / 37 **3**

【定性評価】				
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性		国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	7
1			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	_
理由		判断能力が不十分な対象者	・ へ市長申立てによる権利擁護を行います	
必要性		市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
2			3 市民ニーズはない又は不明である	·
2				
理由		成年後見制度利用促進計画	が策定され増加が見込まれます	
有効性		目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	4
3			3 進捗はかなり遅れている	
理由			必要に応じて市長申立てを行います	
効率性		事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	_
		57133#%	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	7
4			3 事業于法の検討や事務以普にのより取り組めていない	
理由		 定められた手順に削り 海	正な事業運営に取り組みます	
<u> </u>		上の516に子順に到り、過 事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
471		準	1	4
_			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5			TO THE PROPERTY OF THE PARTY OF	
理由		今後も国・県が求める水準	を満たせるよう検討します	
【 1 / 如 師 / 面 対	- III T			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	令和4年度より障害者の権利擁護に資するよう社会福祉協議会へ委託した安城市後見支援センターの機能の強化 を行っていきます。
1次コメント (400文字)	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

13時21分30秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 障害者ホームヘルプ事業

事務事業 02614 【基本情報】

電話番号 0566-71-2259

【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市	総合計画			
5 Kの分類	004 きずな	004 きずな			
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域	生活支援			
事務事業	012 障害者ホーム	ヘルプ事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社	会生活を総合的に支	援するための法律		
備考					
伸写					
	L				
【車業分析】					

▲ 尹未刀彻 』	
対象	ホームヘルプを希望する障害者が
目的	ホームヘルプを利用できるようになる
手段	【ホームヘルプ】在宅生活を送る障害者に対し、ホームヘルパーを派遣し、居宅介護(身体介護(入浴・排せつ・食事)、家事援助(調理・掃除))、重度訪問介護(長時間に渡る総合的な介護)、行動援護及び移動支援(外出の同行)等を行うサービスです。利用者は市からの支給決定を受け、サービスを利用します。市は事業者にサービス報酬(9割給付)を支払います。
事務内容	サービス等利用計画案に基づき、市がサービスの支給決定を行い、申請者に受給者証を交付します。市は、サービス提供事業者にサービス費用の9割を公費分として支払います。

(単位:千円) 【コスト】

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	ルコスト	219,390	256,193	250,285
事	業費	215,610	251,573	245,665
	国庫支出金	96,125	114,898	113,500
	県支出金	48,062	57,449	56,749
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	71,423	79,226	75,416
人	件費計	3,780	4,620	4,620
	正規(人)	0.60	0.70	0.70
その他	経費	0	0	0

令和 2年度 令和 3年度 令和 4年度 ・サービス利用者に対し、サービス支給期間更新処理の実施(年1回)・事業所への実地指導の実施・上限負担見直しの実施(年1回)・事業所への実地指導の実施・上限負担見直しの実施(年1回) ・サービス利用者に対し、サービス支給期間更新処理の実施(年1回)・事業所への実施(年1回)・事業所への実地指導の実施・上限負担見直しの実施(年1回)・事業所への実地指導の実施(年1回)・事業所への実地指導の実施(年1回)・上限負担見直しの実施(年1回)				
し、サービス支給期間 更新処理の実施(年1 回) し、サービス支給期間 更新処理の実施(年1 回) し、サービス支給期間 更新処理の実施(年1 回) 【事務事業活動実績】 ・事業所への実地指導 の実施 の実施 ・上限負担見直しの実 ・事業所への実地指導 の実施 ・上限負担見直しの実 ・上限負担見直しの実		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	【事務事業活動実績】	し、サービス支給期間 更新処理の実施(年 1 回) ・事業所への実地指導 の実施 ・上限負担見直しの実	し、サービス支給期間 更新処理の実施(年 1 回) ・事業所への実地指導 の実施 ・上限負担見直しの実	し、サービス支給期間 更新処理の実施(年 1 回) ・事業所への実地指導 の実施 ・上限負担見直しの実

事務事業評価シート(2/2) *** 4年 8月20日

2頁 13時21分30秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02614 障害者ホームヘルプ事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
居宅介護利用人数	1	159.00	164.00	168.00
	^	183.00	195.00	0.00
重度訪問介護利用人数		7.00	7.00	7.00
	^	9.00	9.00	0.00
行動援護利用人数		24.00	15.00	15.00
	^	15.00	13.00	0.00
同行援護利用人数		16.00	20.00	22.00
	^	22.00	26.00	0.00
	4T/T - 40 L			

【 5	2性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		完性 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	4
1			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	·
Ι'				
	理由	障害者総合支援法で市町村	の責務とされている事業です。	
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	4
2			3 市民ニーズはない又は不明である	Ĭ
-				
	理由	本事業がないと生活に支障	をきたす障害者がいます。	
	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
3			3 進捗はかなり遅れている	Ť
3				
	理由	目標値は見込み値であり、		
	効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	\sim
1,			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	<i> </i>
4				
		国の制度に従って取り組ん		
	公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	4
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	Ĭ
3				
	理由	国の制度に基づいて行って		
[1	次評価結果】			

事業の方向性 維持・継続 サービスを必要とする方に対し、適正な支給ができています。また、今後もサービス利用の増加が見込まれ、それに応じた支給量の確保と質の維持を図る必要があります。 国の制度に従って行われる事業であり、今後も継続していきます。		
れに応じた支給量の確保と質の維持を図る必要があります。	事業の方向性	維持・継続
		れに応じた支給量の確保と質の維持を図る必要があります。
1 次コメント (400文字)		

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

3頁 令和 4年 8月20日 13時21分30秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02615 障害者ショートステイ事業 電話番号 0566-71-2259

r	其木	唐報 】	
L	本平	首報 】	

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	013 障害者ショート	ステイ事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支援	むまための法律		
備考					

【事業分析】

L テポハハ 1	
対象	ショートステイを希望する障害者(児)が
目的	ショートステイを利用できるようになる
手段	【ショートステイ事業】自宅で介護する人が病気の場合などに短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行うサービスです。 【日中一時支援事業】障害者の家族の就労支援及び障害者を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることを目的として、障害者の日中における活動の場を確保します。
事務内容	サービス等利用計画案に基づき、市がサービスの支給決定を行い、申請者に受給者証を交付します。 市は、サービス提供事業者にサービス費用の9割を公費分として支払います。

【コスト】

(単位:千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	118,464	124,247	125,480
事業費	114,054	119,627	120,860
国庫支出金	37,541	37,206	37,499
県支出金	19,201	18,850	18,999
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	57,312	63,571	64,362
人件費計	4,410	4,620	4,620
正規(人)	0.70	0.70	0.70
その他経費	0	0	0

		1	
	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・・サース 利用者 加州 日本 1 日本	・サーズス利用者 ・サーズス利用者 ・サー支給、 ・リーズの ・事業に ・・事業の ・・事に ・・事に ・・事に ・・事に ・・を ・・を ・・を ・・を ・・を ・・を ・・を ・・	・サービス利用者に対 リービス利用更新処理 を実施(所へ指導見重) ・事業限負担回か。 ・事に(所のは ・事に(を ・事に(を ・家育でを を を で を で を で を で を の を の と の と の の と の の の の の の の の の の

13時21分30秒

上段:目標值 下段:実績値

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02615 障害者ショートステイ事業 【定量評価】

【正量評価】				上段:目標値 ト段:美績値
指標名	単位 単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
短期入所利用者数	人	78.00 131.00	79.00 95.00	80.00 0.00
日中一時支援利者数	Д	260.00 256.00	256.00 201.00	257.00 0.00
定性評価】				
カテゴリ	評価の観点	<u> </u>	基準	ランク
必要性 1	国・県・民間等との補 完性	 	ビスを行っていない ビスは不十分で、市で補完する必 のサービスを行っている	要がある
理由		すの責務とされている事業です <u>。</u>		
必要性 2	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にあ 2 社会情勢の変化等によ 3 市民ニーズはない又は	り市民ニーズは低下している	1
理由		章をきたす障害者がいます。		
有効性 3	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標 2 目標を下回る進捗状況 3 進捗はかなり遅れてい	である	1
	目標値は見込み値であり、	 ニーズを満たせればよいです。		•
	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務 2 事業手法の検討や事務	改善に取り組み、具体的な成果を 改善に取り組んでいる 改善にあまり取り組めていない	<u>Elita</u>
理由	国の制度に従って取り組ん	ユーロー ∪でいる事業です。		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等	と比較してあまり適正でない。	1
	日の制度に甘べいてに - 2	<u> </u>		
<u></u> 理由	国の制度に基づいて行って	_いの尹耒じり。		
<u>、「次町岡岡米』</u> ■業の方向性	維持・継続			
1 次コメント (400文字)			地域移行を推進するため緊急的な	ショートステイ先を
【2次評価結果】				
事業の方向性	評価未実施 本東業においては、2次部			
	本事業においては、2次評	·IIIIで天心していません。		

2 次コメント (400文字)

5頁 令和 4年 8月20日 13時21分30秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 障害者グループホーム事業 電話番号 0566-71-2259 02616

_		-		_
•	T *	涶	ᄯᄔ	1
	悬巫'		¥₹	

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	014 障害者グループ	ホーム事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支援	愛するための法律		
備考					

【事業分析】

障害者が
グループホーム(共同生活援助)を利用し、地域で生活することができる。
共同生活を営む住居において、主に夜間に相談、入浴、排泄または食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。
サービス等利用計画案に基づき、市がサービスの支給決定を行い、申請者に受給者証を交付します。 市は、サービス提供事業者にサービス費用の9割を公費分として支払います。
IPIは、ソーレへ延休者来日にソーレへ具用の5割でム貝ガモひし又払いより。

【コスト】

(単位	:	千円)
4年度		

			(半位・十〇)
	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	297,097	338,208	308,072
事業費	293,947	334,248	304,112
国庫支出金	144,496	163,220	150,000
県支出金	78,798	87,954	81,487
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	70,653	83,074	72,625
人件費計	3,150	3,960	3,960
正規(人)	0.50	0.60	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・新規申請の受付、支	・新規申請の受付、支	・新規申請の受付、支
	給決定	給決定	給決定
	・サービス支給期間及	・サービス支給期間及	・サービス支給期間及
	び障害支援区分の更新	び障害支援区分の更新	び障害支援区分の更新
	(3年に1回)	(3年に1回)	(3年に1回)
	・利用者負担上限額の	・利用者負担上限額の	・利用者負担上限額の
	更新(年に1回)	更新(年に1回)	更新(年に1回)

事務事業評価シート(2/2) 🚓 4年 8月20日

13時21分30秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02616

障害者グループホーム事業 上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	106.00	128.00	137.00
^	131.00	146.00	0.00
	X	人 106.00 131.00	人 106.00 128.00 146.00 146.00

【定性評価】			
<u></u> カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性 1	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	障害者総合支援法で市町村	の責務とされている事業です。	
必要性 2	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	地域移行は国の施策であり		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	地域移行は国の施策であり		
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	国の制度に従って取り組ん		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	国の制度に基づいて行って	いる事業です。	

【1次評価結果】

事業の方向性 拡充	【 八計 和未 】	
障害者の地域生活への移行を推進し、宝現のために、グループホームは大きな役割を担っています。	事業の方向性	拡充
利用希望者に対して市内の施設数が不足していますが、市外事業所の利用等、広域的な対応により適切にサービスが支給できています。また、障害特性に合った更なる整備促進に努めていきます。 1 次コメント (400文字)	1次コメント	スが支給できています。また、障害特性に合った更なる整備促進に努めていきます。

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

7頁 13時21分30秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02617 障害者医療支援事業

電話番号 0566-71-2259

-	-		1-		_
	Ħ	\mathbf{x}	生	ᅭ	1
	巫	4	18	ŦΙV	

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	015 障害者医療支援	事業			
			T.		
事業期間	平成18年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支援	愛するための法律		
備考					

【事業分析】	
対象	自立支援医療に該当する医療を必要とする障害者(児)が
目的	医療サービスにかかる医療費を軽減できるようになる
手段	身体障害者が、身体機能障害の軽減又は改善するための医療費を助成します。対象は次のとおりとなっています。 視覚障害・聴覚障害・音声機能障害、言語機能、または咀嚼の障害・肢体不自由・腎臓機能障害・心臓機能障害・免疫機能障害
事務内容	透析や腎臓の免疫治療など更新手続きが必要な人には、受給者証の有効期間が切れないように更新案内を送るなどし、期限切れにならないよう受給者サービスに努めました。平成25年度より、自立支援医療(育成医療)が 障害福祉課の窓口で申請できるようになりました。

【コス	F]			(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		150,995	149,444	142,562
事	業費	145,325	142,184	135,302
	国庫支出金	72,511	70,943	67,500
	県支出金	36,256	35,471	33,750
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	36,558	35,770	34,052
人	件費計	5,670	7,260	7,260
	正規(人)	0.90	1.10	1.10
その他	2経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・自立支援医療(更生	・自立支援医療(更生	・自立支援医療(更生
	医療・育成医療)制度	医療・育成医療)制度	医療・育成医療)制度
	の活用により、障害者	の活用により、障害者	の活用により、障害者
	の医療費負担軽減を図	の医療費負担軽減を図	の医療費負担軽減を図
	ります。	ります。	ります。

8頁 13時21分30秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02617 障害者医療支援事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
更生医療の給付人数		200.00	200.00	200.00
	^	192.00	199.00	0.00
育成医療の給付人数	1	38.00	38.00	38.00
	^	28.00	19.00	0.00
【定性評価】				

【定性評価】		12.54	->.4
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	元 ^{11生}	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
1		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	障害者総合支援法で市町村	<u>†の責務とされている事業です。</u>	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
2		3 市民ニーズはない又は不明である	
-			
理由	障害者の自立支援のために		
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	1
3		3 進捗はかなり遅れている	Ť
3			
理由	目標値は見込み値であり、		
効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
	の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	1
4		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
4			_
理由	国の制度に従って取り組ん		
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	·
٦			
理由	国の制度に基づいて行って		

【 1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	国の制度に従って行われる事業であり今後も継続していく必要があります。
1 次コメント	
(400文字)	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

事務事業評価シート(1/2) 常和 4年 8月20日

13時21分30秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業

電話番号 0566-71-2259 02618 障害者補装具交付事業

【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	016 障害者補装具交	付事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支援	愛するための法律		
│ │ 備考					

【事業分析】	
対象	補装具を必要とする障害者(児)が
目的	補装具を使用できるようになる
手段	身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替するもので、障害個別に対応して設計加工された補装具を交付 します。(主な補装具:義肢、下肢装具、車いす)
事務内容	申請 審査(見積書の確認、障害名・障害等級により補装具交付対象者であるか確認、添付資料の確認) 申請 者及び世帯員の税情報の確認 見積書により補装具の金額の確認 本人負担額の確認 税情報により本人の上限 負担額の決定 交付券及び決定通知書の作成 決裁 本人・事業所それぞれに通知

(単位:千円) 【コスト】

<u> </u>		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		36,109	32,406	36,040
事	業費	31,069	26,466	30,100
	国庫支出金	15,350	13,189	15,000
	県支出金	7,675	6,594	7,500
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,044	6,683	7,600
人	件費計	5,040	5,940	5,940
	正規(人)	0.80	0.90	0.90
その他経費		0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	窓口にて書類審査及び	窓口にて書類審査及び	窓口にて書類審査及び
	口頭での調査を行い、	口頭での調査を行い、	口頭での調査を行い、
	公平公正なサービス支	公平公正なサービス支	公平公正なサービス支
	給を行う。	給を行う。	給を行う。

10頁 令和 4年 8月20日 13時21分30秒

上段:目標值 下段:実績値

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02618 障害者補装具交付事業 【定量評価】

	指標名	単位		令和 3年度	令和 4年度
浦					
r H 3	WAXIIIW	件	270.00	270.00	270.00
		···	273.00	261.00	0.00
L					
_	= 1.1 AT (T. 7			<u> </u>	
【定	<u>性評価】</u>				
	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
	必要性	国:県・民間等との補	1 国・県・民間等がサー	ービスを行っていない	
l		完性	2 国・県・民間等のサ	ービスは不十分で、市で補完する必	要がある
1			3 国・県・民間等が同	様のサービスを行っている	
ı					
			 の責務とされている事業です		•
	哇巴 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分に		
	W-34/II	I'M AWAM		<u>の。</u> より市民ニーズは低下している	
					1
2			3 市民ニーズはない又	は小明じのも	
	理由	障害者の自立支援に不可欠			,
	有効性	目標に対する進捗状況		標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況	況である	1
2			3 進捗はかなり遅れて	いる	·
3					
	 理由	日煙値け目込み値でなり	ı ニーズを満たせればよいです	•	1
	<u> </u>	<u>日保恒は兄込め値であり、</u> 事業の効率化・事業費			· L/#7117
	M) +- I	事業の効率化・事業員 の削減		務改善に取り組み、具体的な成果を 路沿着に取り組んでいる	TI) (1) 2
		133" %	ナルコルベバルコ チ	務改善に取り組んでいる	つ I
4			3 事業手法の検討や事	務改善にあまり取り組めていない	
					I
	理由	国の制度に従って取り組ん			
	公平性	事業規模・サービス水		等と比較して適正である。	
		 华		等と比較してあまり適正でない。	
F				等と比較して適正でない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
5					
		国の制度に基づいて行って			1
	<u> </u>		v・3 尹未しり。		
		維持・継続			
争争	巻の方向性		はしていキナナ		
		国の制度に基づき事業を継	気していさまり。		
1 %	アコメント				
(4	100文字)				
[2	次評価結果】	-			
	<u> 次計 岡淵宋 </u>	評価未実施			
- 1 3	トツノリリエ	評価本美施 本事業においては、2次評 [・]	価を実施していませる		
			叫で夫加していません。		
					l
	 スコメント				
(4	100文字)				
-	÷				
i					

13時21分30秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価 所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02619 障害者日常生活用具給付事業 電話番号 0566-71-2259

7 tt */	生却 1	
	目和	

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	017 障害者日常生活	用具給付事業			
事業期間	平成18年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支援	骨するための法律		
備考					

【事業分析】

<u> </u>	
対象	日常生活用具を必要とする障害者(児)が
目的	日常生活用具を使用できるようになる
手段	身体・知的障害者(児)に対し、日常生活を送るうえでの不便を解消し、障害者が自力で生活を営むことを容易にするために給付します。
事務内容	申請 審査(見積書の確認、障害名・障害等級により日常生活用具給付対象者であるか確認、添付資料の確認) 申請者及び世帯員の税情報の確認 見積書、税情報により、公費負担額、本人負担額の確認 給付券及び決定 通知書の作成 決裁 本人、業者にそれぞれ通知

	ス ト 】			(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
7	タルコスト	40,724	43,620	45,940
1	事業費	35,684	37,680	40,000
	国庫支出金	8,921	9,420	10,000
	県支出金	4,461	4,710	5,000
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	22,302	23,550	25,000
	人件費計	5,040	5,940	5,940
	正規(人)	0.80	0.90	0.90
その	他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	申請の受付、システム	申請の受付、システム	申請の受付、システム
	入力、決定通知書の交	入力、決定通知書の交	入力、決定通知書の交
	付を行う。	付を行う。	付を行う。
	主な用具として、スト	主な用具として、スト	主な用具として、スト
	マ用装具、紙おむつ、	マ用装具、紙おむつ、	マ用装具、紙おむつ、
	たん吸引器がある。	たん吸引器がある。	たん吸引器がある。

12頁 令和 4年 8月20日 13時21分30秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価 所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02619 障害者日常生活用具給付事業

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
日常生活用具給付件数	件	1,700.00 1,768.00	1,700.00 1,804.00	1,700.00 0.00
<u>定性評価】</u> カテゴリ	評価の観点	1		ランク
	国・県・民間等との補			
	国・県・民間等との補 完性	2 国・県・民間等のサー	ビスは不十分で、市で補完する必要があ のサービスを行っている	3
				 •
理由		寸の責務とされている事業です。		
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にあ		
2		2 社会情勢の変化等によ 3 市民ニーズはない又は	り市民ニーズは低下している 不明である	1
理由		ール亜スオ		
		こ必要です。 1 目標を上回る又は目標	ドキリの准性である	
HWIT	口がに対すると言うがが	2 目標を下回る進捗状況		
3		3 進捗はかなり遅れてい		1
	 目標値は見込み値であり、	_ _ <u>ニーズを満たせればよいです。</u>		
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務 2 事業手法の検討や事務	改善に取り組み、具体的な成果を上げて 改善に取り組んでいる	113
4		3.316.3.424.9.1343.1.3.333	改善にあまり取り組めていない	= 2
	国の制度に従って取り組ん 事業規模・サービス水			
5 5	事業税候・リーロス小準	2 環境変化や他自治体等	と比較して適正である。 と比較してあまり適正でない。 と比較して適正でない。	1
				<u> </u>
理由	国の制度に基づいて行って	ている事業です。		
1次評価結果】	<i>₩</i> +± <i>₩ ≠</i>			
業の方向性	維持・継続 地域生活支援事業の必須§		事業を継続していきます。	
次コメント				
(400文字)				
, 40001)				
2 次評価結果】				
業の方向性	評価未実施			
	本事業においては、2次記	¥伽を実施していません。		
2 次コメント				
(400文字)				
,				

13時21分30秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02620 障害者入所支援事業

電話番号 0566-71-2259

【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな			•	
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	018 障害者入所支援	事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支持	爰するための法律		
備考					

【事業分析】

【	
対象	施設入所を希望する障害者が
目的	施設に入所できる
手段	家庭での介護が困難な障害者が、施設に入所して、夜間や休日に、入浴・排せつ・食事の介護などが受けられるように支援します。
事務内容	サービス等利用計画案に基づき、市がサービスの支給決定を行い、申請者に受給者証を交付します。 市は、サービス提供事業者にサービス費用の9割を公費分として支払います。

(単位:千円) 【コスト】

		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	'ルコスト	139,105	138,989	141,320
事	業費	136,585	137,669	140,000
	国庫支出金	68,293	68,835	70,000
	県支出金	34,146	34,417	35,000
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	34,146	34,417	35,000
人	件費計	2,520	1,320	1,320
	正規(人)	0.40	0.20	0.20
その他	経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・サービス利用者に対 し、サービス利用者に対 し、新処理の実施(年 1 回) ・事業所への実地指導 を実施 ・上限負担額見直しの 実施(年 1 回)	・サービス利用者に対し、サービス利用者に対し、サービス支給期間更新処理の実施(年1回)・事業所への実地指導を実施・上限負担額見直しの実施(年1回)	・サービス利用者に対し、サービス支給期間更新処理の実施(年1回)・事業所への実地指導を実施・上限負担額見直しの実施(年1回)

14 頁 令和 4年 8月20日 13時21分30秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02620

障害者入所支援事業 上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
施設入所支援利用者数		87.00	84.00	83.00
	^	84.00	80.00	0.00

【定性評価]			
_	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性		国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		元性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
1			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	- ≺
'				
理由		現在は市内で民間1事業所の		
必要性		市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
2			3 市民ニーズはない又は不明である	,
4				
理由		国が地域移行を推奨してい	る中で低下傾向です。	
有効性		目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	А
3			3 進捗はかなり遅れている	Ť
3				
理由		国が地域移行を推奨してい		
効率性		事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	•
4				
理由		国の制度に従って取り組ん		
公平性		事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	1
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	Ť
١٠١				
理由		1事業所しかないので適正		
【 1 /2 钟/佈/	/+			

【1次評価結果】

事業の方向性	縮小・統合
	地域生活への移行によりグループホームや自立生活援助の提供体制の整備を行っている中で、削減目標を掲げて います。ただし、ニーズがなくなることはないので、現状の1事業所は維持する必要があります。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

E - O'CHI IMMENICA	
事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

15 頁 令和 4年 8月20日 13時21分30秒

0566-71-2259

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02621 電話番号 障害者通所支援事業

【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	019 障害者通所支援	事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支援	として とり		
	事務事業の見直しにより、	平成29年度からり	人下の事業を統合しています。)	
	・障害者通所支援事業・	重症心身障害児(者	首) 在宅支援事業		
 備考					
_ m -3					

【事業分析】	
対象	施設通所をを希望する障害者が
目的	施設に通所できる
手段	家庭での支援が困難な障害者が施設に通所し、就労訓練や社会適応訓練を受けられるように援助します。また、 短期入所事業とホームヘルパー事業を含む3つ以上の事業や訪問看護と療育通所介護に併せて実施する児童発達 支援か放課後等デイサービスを複合的に一箇所で実施する場合、基準職員配置以上に加配している職員の人経費 の一定額を事業者に対して補助します。
事務内容	通所支援事業は、サービス等利用計画案に基づき、市がサービスの支給決定を行い、申請者に受給者証を交付します。市は、サービス提供事業者にサービス費用の9割若しくは10割を公費分として支払います。 重症心身障害児(者)在宅支援事業は、医療的ケアが必要な障害児(者)が利用する事業所に対して運営補助金の助成をします。

【コスト】 (単位:千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	1,717,074	1,858,236	1,877,234
事業費	1,712,034	1,852,296	1,871,294
国庫支出金	824,430	890,454	900,000
県支出金	412,206	445,218	450,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	475,398	516,624	521,294
人件費計	5,040	5,940	5,940
正規(人)	0.80	0.90	0.90
_			
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・サービス利用者に対し、サービス利用者に対し、サービス利用支給期間更新処理の実施・事業所への実地指導の上限負担区分見直しの実施(年1回)・2事業所へ交付(重症心身障害)	・サービス利用者に対し、サービス利用者に対し、サービス支給期間更新処理の実施・事業所への実地指導の実施り上限負担区分見直しの実施(年1回)・2事業所へ交付(重症心身障害)	・サービス利用者に対 し、サービス支給期間 更新処理の実施 ・事業所への実地指導 の実施 ・上限負担区分見直し の実施(年1回) ・2事業所へ交付(重 症心身障害)

16頁 13時21分30秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02621 【定量評価】 障害者通所支援事業

【定量評価】	/// 人及子来			上段:目標值 下段:実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
生活介護利用者数	人	399.00 440.00	360.00 426.00	361.00 0.00
就労継続支援 A 型利用 者数	人	122.00 138.00	134.00 142.00	136.00 0.00
就労継続支援 B 型利用 者数	人	174.00 240.00	232.00 280.00	249.00 0.00
就労移行支援利用者数	人	52.00 57.00	37.00 44.00	37.00 0.00

		57.00	44.00	0.00
【定性評価】	•	•	•	
カテゴリ	評価の観点	基準	 集	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行		
	完性		十分で、市で補完する必要がある	<u>i</u>
		3 国・県・民間等が同様のサービ		
理由				
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある		
	7,70	2 社会情勢の変化等により市民二	ーズは低下している	—
		3 市民ニーズはない又は不明であ		– 1
2		3 1120- 7110-017 17110-1711		
理由	一直宝老への就労支援は国の	 D施策であり、ニーズも高いです。		
有効性	目標に対する進捗状況	<u> 1 目標を上回る又は目標どおりの</u>)谁挑である	
	13.1-7.3	2 目標を下回る進捗状況である		—
		3 進捗はかなり遅れている		– 1
3		3 23/100/100/2010		
				┦ -
		■■■■ 継続支援A・B型は増加傾向です。		
	事業の効率化・事業費			12
W)-11	の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取		
		3 事業手法の検討や事務改善にあ		⊣ ' <i>)</i>
4		3 事業 7 仏の状的 ド事物以音にめ	スク状で温のでいない	⊣ ∠
				—
	国の制度に従って取り組ん	_ んでいる車 挙 です		
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較し	ア 海正で ある	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較し		┥
		3 環境変化や他自治体等と比較し		⊣ 1
5		3	て過止でない。	
				⊣ -
	国の制度に基づいて行って	╶┃ ┃ ፘいろ車挙です		
	国の前及に至りいて门り	こいもず未てす。		
<u>・ 次の 風間 ス</u> 業の方向性	拡充			
* 米の川可正		D施策であり、テレワークの推進など、量		 ≚です
	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	が記念という、プレクークの記述など、重		RC 70
次コメント				
400文字)				
2次評価結果】				
<u> </u>	評価未実施			
ᆥᄍᄱᄼᆝᆌᅜ	本事業においては、2次記			
	一	一川 と大川 としているとん。		
カコメント				
次コメント				

(400文字)

17頁 13時21分31秒

令和 3年度 進捗区分 2次評価 評価年度 所属 0001151520 障害福祉課障害給付係

事務事業 02622 障害者相談支援事業

電話番号 0566-71-2259

【基本情報	1
	4

<u>【卒午月刊】</u>					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生				
事務事業	020 障害者相談支援	事業			
事業期間	平成17年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	障害者の日常生活及び社会	生活を総合的に支援	ぽするための法律、計画相談 ぽ	等事業運営費補助金	交付要綱
	事務事業の見直しにより、	平成29年度から以	(下の事業を統合しています。		
	・障害者相談事業 ・指定	特定相談支援事業所	f運営補助 ・地域活動支援・	センター事業	
┃ ┃ 備考					

【事業分析】

▲ 事業分別 】	
対象	障害者(児)が
目的	必要に応じて相談できるようになる
手段	障害者から障害福祉サービスの利用に関する相談を受け、利用申請を指導します。障害支援区分に基づき介護給付、地域生活支援事業等の障害福祉サービスに関する利用意向を聞き取り、利用方法等の相談を受けます。 地域活動支援センター事業は障害を持つ方に、創作的活動又は生産活動の機会の提供など、厚生労働省令で定める便宜を提供する事業です。
事務内容	申請者が自ら選択した相談支援事業者が申請者から「サービスをどのように利用したいのか」について意向を聴き取り、心身の状況にあったサービス利用ができるよう「サービス等利用計画案」を作成します。 各相談支援事業所等に委託契約又は補助金の助成をします。

【コス	F]			(単位:千円)
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	7ルコスト	183,603	205,083	229,673
事	業費	177,303	197,823	222,413
	国庫支出金	40,228	46,744	39,412
	県支出金	20,113	23,371	19,705
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	116,962	127,708	163,296
人	件費計	6,300	7,260	7,260
	正規(人)	1.00	1.10	1.10
	<u> </u>		_	
その他	2.経費	0	0	0

令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
· 各相談支援事業:指定一般(1事業所)、指定特定(7事業所) 【事務事業活動実績】	・各相談支援事業:指 定一般(1事業所)、指 定特定(6事業所)	·各相談支援事業:指 定一般(1事業所)、指 定特定(7事業所)

18頁 13時21分31秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02622 障害者相談支援事業

【定量評価】

上段:目標値 下段:実績値

【足里叮叫】				
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
相談相談支援利用人数		920.00	940.00	1,200.00
	^	1,059.00	1,139.00	0.00
障害児相談支援利用数	Д	510.00 538.00	520.00 594.00	550.00 0.00
地域活動支援センター 利用登録者数	٨	206.00 233.00	227.00 238.00	248.00 0.00

[7	定性評価】			
	カテゴリ	評価の観点	基準 基準	ランク
	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		完性	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	1
1			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	Ť
l '				
	理由	障害者総合支援法で市町	寸の責務とされている事業です。	
	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
2			3 市民ニーズはない又は不明である	
_				
	理由	相談件数は右肩上がりに	<u>増えています。</u>	
	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	1
3			3 進捗はかなり遅れている	
ľ				
	理由	目標値は見込み値であり	<u>ニーズを満たせればよいです。</u>	
	効率性	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	1
4			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
l .				
	理由	国の制度に従って取り組	んでいる事業です。	
	公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		 华	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	7
5			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	~
l	理由	相談件数の増加に対して	目談支援事業所及び相談員が足りません。	

【 1 次評価結果】

事業の方向性	拡充
	相談業務は、障害福祉サービスを受ける上で最初のステップとなります。障害者本人が将来に向けて必要となることを考えて計画を立てるため人員の確保と質の向上が必要となります。 相談件数の増加傾向に対して相談支援事業所及び相談員が増えていず、サービスの低下が懸念される状態であり、拡充が必須です。

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	

19 頁 令和 4年 8月20日 13時21分31秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02625 児童デイサービス事業

【基本情報】

務事業 02625 児童デイサービス事業 電話番号 0566-71-2259

【					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	003 13社会保障				
施策の方針	004 障害者の地域生	活支援			
事務事業	023 児童デイサービ				
事業期間	平成24年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	児童福祉法				
備考					
【事業分析】					
対象	児童デイサービスを希望す	る障害児が			
目的	児童デイサービスを利用で	きるようになる			

手段 児童発達支援事業においては、未就学児に対して、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活に適応する ための訓練を行い、放課後等デイサービスでは就学中の障害児に対して、放課後や長期休暇中に生活能力向上の ための訓練等を行うことにより、自立の促進をします。

事務内容 サービス等利用計画案に基づき、市がサービスの支給決定を行い、申請者に受給者証を交付します。 市は、サービス提供事業者にサービス費用の9割を公費分として支払います。

【コスト】 (単位:千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	647,457	727,142	732,540
事業費	638,007	714,602	720,000
国庫支出金	315,080	357,301	360,000
県支出金	157,537	178,651	180,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	165,390	178,650	180,000
人件費計	9,450	12,540	12,540
正規(人)	1.50	1.90	1.90
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・月1日 ・月1日 ・月1日 ・月1日 ・月 ・月 ・月 ・月 ・月 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日 ・日	・月1回サービス更新 児に対し手続査、 児に対面接調査を連支機・ 類、発送手続音をの実支援・ 医療型児達支援事業利用 者の負担額目の)など の実施(年1回)など	・月1回サーラス 東新 に に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対 に 対

20頁 13時21分31秒

令和 3年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001151520 障害福祉課障害給付係 事務事業 02625 児童デイサービス事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
医療型児童発達支援事業・児童発達支援事業 利用者	実人数	118.00 137.00	114.00 156.00	125.00 0.00
放課後等デイサービス 利用人数	実人数	320.00 405.00	403.00 429.00	428.00 0.00

[]		•	<u> </u>	
	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	計画の観点 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
	理由	児童福祉法により市町村の)責務とされている事業です。	
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	理由	障害児とその保護者へのす	を接のニーズは常にあります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
		目標値は見込み値であり、		
4	効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
		国の制度に従って取り組ん		
5	公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	国の制度に基づいて行って	こいる事業です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	障害児の将来的な自立の促進のために必要な事業です。国の制度に基づき事業を継続していきます。
1 次コメント	
(400文字)	
,	

【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	